

# 日本文学研究ジャーナル

Academic Journal of Japanese Literature

特集 源氏物語を読む (編集/高木和子・鈴木宏子)

2021年3月  
第17号  
目次

巻頭エッセイ 源氏物語の本文異同に関する断想

藤原克己……………2

光源氏と三代の帝―帝の寵妃を中心に―

高田祐彦……………7

『源氏物語』葵巻の二つの引歌表現をめぐって

―六条御息所詠と三位中将詠の引歌検討―

松本 大……………16

『源氏物語』明石姫君誕生時における「御佩刀の儀」

―「うつほ物語」いぬ宮の事例を踏まえて―

高橋麻織……………29

『源氏物語』野分巻における玉鬘の和歌と夕霧

―和歌を立ち聞くことと可能態としての「歌語り」―

勝亦志織……………40

竹河卷末の昇進記事をめぐって

―『源氏物語』の〈左大臣〉と〈右大臣〉―

村口進介……………51

薫の「世」―大君との物語を中心に―

井内健太……………62

浮舟物語の贈答歌―作中歌にあらわれる個性―

鈴木宏子……………74

『源氏物語』は和歌で何をしているのか

―三者以上の詠歌に着目して―

吉井 祥……………86

『源氏物語』の贈答歌における返歌の方法について

北原圭一郎……………99

『源氏物語』の独り言の歌

田中智子……………112

『源氏物語』における「ゲナリ」の一特質

―物語技法の一つとして―

本廣陽子……………125

類話の累積に見る源氏物語の成立と方法

高木和子……………134

連載

日々は探索―古筆切・写本・たまに版本―第一六回  
伝藤原資経筆・未詳名所歌集断簡付 古写本群研究の可能性

久保木秀夫……………147